

令和4年度 学校教育診断アンケート結果 幸田町立北部中学校

2学期末にかけて実施した学校教育診断アンケート(教育活動評価表)の結果について、2月16日開催の「学校関係者評価委員会」で評価委員の皆様からご意見をいただきました。アンケート結果やご意見から保護者の皆様や生徒たちがどんなことを考え、何を感じているかを把握し、今後の教育活動に還元することで、さらに信頼関係を深められるよう努力していきたいと考えています。ご協力ありがとうございました。

※裏面に集計結果の数値一覧を掲載しました。保護者の皆様の視点からも、ぜひこの結果を考察してみてください。
※アンケート結果の分析は、「4段階評価のA(あてはまる)」と「B(だいたいあてはまる)」の評価を合わせた数値をもとに生徒・保護者・教職員での三者比較を中心に分析を行いました。

〇三者比較・前年度比較によるアンケート結果の特徴

1 清掃・あいさつ・部活動・学校行事等について

コロナ禍にもかかわらず、当番活動や係活動、生徒会活動については、前年度に比べ1.7ポイント(生徒)上昇しました。また、「学校へ行くことが楽しい」と感じている生徒も、1.4ポイント上昇しました。今年度、生徒会では「やればできる」をスローガンに掲げ、できる方法を模索しながら各種行事に取り組んできました。陸上大会では、大きな声を出して応援する代わりに、うちわを使った応援を取り入れ、全校レクでは、密にならないようにレクの内容や方法、場所を工夫し、新入生歓迎会を含め年3回のレクを実施することができました。

北部中学校「3つの柱」の一つである「あいさつ」については、生徒、教職員とも前年度より約8ポイント上昇していますが、保護者のポイントは、若干下がっています。今後、マスクの着用が緩和されていく傾向にあり、校内だけでなく地域の方々にも、会釈を含め生徒自らあいさつが行えるように指導していきたいと考えています。また、「清掃」については、生徒、教職員とも前年度より大きくポイントを下げています。掃除の仕方や分担を明確にしながら、委員会による生徒の取組も進めていきたいと考えています。

部活動については、8割以上の生徒や保護者、教職員が真剣に取り組んでいると回答していますが、前年度と比べると3者ともポイントを下げています。本年度、県大会や東海大会、全国大会と駒を進めた部活動がある反面、部活動そのものを取り巻く環境は年々変化してきています。たくましい心身の育成と温かみのある人間関係の構築、連帯感や達成感が味わえるような部活動を目指して、来年度は、外部指導者(一部の部活動)とも協力をしながら、限られた時間を有効に活用していきたいと考えています。

2 授業や家庭学習について

学校生活の中で大切にしたいものの中に授業があります。9割以上の生徒が「授業を真剣に取り組んでいる」、8割近くの生徒が「授業は分かりやすい」と回答し、両項目とも前年度よりポイントを上げています。その反面、ノートや課題などの提出物、家庭における学習時間は、前年度に比べ、生徒、保護者、教職員とも大きくポイントを下げっており、家庭での学習の様子と生活が心配されます。学校の授業と家庭学習の両輪で、生徒の学習習慣を確立していけるように保護者の協力を仰ぎながら進めていきたいと思っています。また、生徒質問20『『飛翔(生活記録)』を書き、自分の生活を振り返ることができている』は、生徒、教職員とも約10ポイント下げています。教職員は、思春期にいる生徒たちとのつながりや生徒の様子を把握するために「飛翔」を活用し、生徒と良好な人間関係づくりに努めていきたいと思っています。

3 信頼関係について

「相談できる友達がいる」については、生徒・保護者・教職員とも若干ポイントを下げ

いるものの、「相談できる先生がいる」については、生徒が約5ポイント、「お子さんのことについて、先生に気軽に相談できる」については、保護者が約6ポイント上昇しています。生徒の健やかな成長のためには、家庭との信頼関係は必要不可欠です。その信頼関係をさらに築きながら、より親身になって生徒の相談が受けられるようにしていきたいと思います。また、さまざまな悩みや問題を抱える生徒のために、本年度は、町に配属された家庭教育支援員やスクールソーシャルワーカーの活用を図りました。来年度以降も外部の人材を活用するとともに、保健室以外の新たな生徒の居場所づくりや相談活動を展開していきたいと考えています。

4 その他

保護者質問4「学校は、……学校や学級の様子がよく分かるようにしている」では、前年度に比べて約10ポイント上昇しています。これは、学年ごとに学校保健委員会を実施したり、6月に行われた道徳の授業を学年単位で公開したり、9月に行われた陸上大会では、校舎2階と3階のベランダを保護者に開放したりするなど、昨年度はできなかった保護者の参加や参観を可能にするため工夫したことによるものと思われます。来年度は、保護者の自由記述欄にもあった文化祭、とりわけ合唱コンクールについても、保護者の方全員に参観していただけるように準備を進めていきたいと考えています。

保護者質問3・5・6・7・8・9については、いずれもポイントが少し下がっています。保護者質問6に関わる避難訓練について、1月末に行われた避難訓練では実施日を決め、時間を決めず、避難場所の急遽変更という形式で実施しました。今は、そこで出た課題を洗い出し、まとめている最中です。来年度は、この課題を生かした避難訓練に取り組んでいく予定です。

保護者質問7・8・9については、昨年度に比べ、1ポイントから4ポイントほど下がっています。生徒理解や授業力向上に関する研修会への参加、信頼を基盤とした学級づくり、学年づくり、そして学校づくりをより進めていきたいと考えています。



◎ 自由記述欄より

※1 文化祭の合唱コンクールが、北部中学校だけマスクだったのが残念でした。コロナの心配も分かりますが…。

→ 合唱コンクールを実施するにあたり、学校も直前まで検討を重ねました。学校としても、可能であればマスクを外し、表情豊かに合唱をさせてあげたいと考えていましたが、10月に入り町内では学級閉鎖をとった学校が複数あったこと、また、「教育活動の実施等に関するガイドライン」（愛知県教育委員会）には、「合唱をする際にはマスクを原則着用」「マスク着用の場合でも、前後方向及び左右方向ともにできるだけ2m（最低1m）空ける」等の記載があり距離の確保が難しいこと、また、10月上旬に実施されたNHK全国音楽コンクール（通称Nコン）においてもマスクを着用して合唱していたこと、さらには文部科学省の通知、全日本合唱連盟や文化施設協会のガイドライン等を踏まえ、生徒の安全を最優先にした苦渋の決断であったことをご理解いただきたい。

※2 自転車通学の子どもたちが、横断歩道をスピード出して渡っていたり、車が来るのを確認せず渡っていたりして危ないと思うことがありました。

→ 学活や通学団単位での指導に加え、下校時には校舎周辺の道路や交差点にて、交通立哨を行っています。交通マナーについて気になることがありましたら、その都度、ご連絡いただければ対応していきます。よろしくお願いします。